

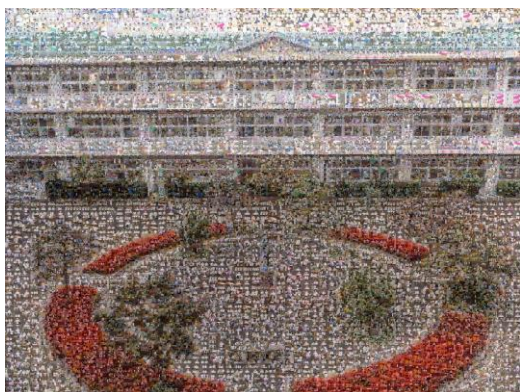


第55回蒼龍祭 (10月2日)

～挑(いどむ)～ さらなる高みを目指して～

本年度の蒼龍祭は新型コロナウイルス感染症対策のため、音楽会や校庭での生徒会企画は行わず、半日で開催されました。準備期間が短い中、3年生の生徒会役員が中心となって、新しい形の「蒼龍祭」を創りあげようと企画を考え、まさに『挑(いど)』んだ蒼龍祭でした。開祭式ではクラスごとの意気込みを撮影したビデオが流れ、美術部が制作した「ステージバック」が紹介されました。生徒会企画の「クラス対抗クイズ大会」では、会議室が『放送局』となり、各教室にライブ放送をしました。クイズに正解すると、教室からは歓声が聞こえました。閉祭式では、生徒会企画の表彰、アルミ缶回収の報告、各委員会の活動報告、全校生徒の笑顔の写真で制作した「モザイクアート」の発表もありました。

10月3日と4日、吹奏楽部と合唱部は保護者を招いて、ハートフルな演奏会を行いました。これで、3年生は部活動に区切りを迎え、次の目標に向かっていくことになります。



全校制作「モザイクアート」



教室で参加！（クイズ大会）



縦5m×横9mのステージバック（美術部）

校長講話 「レリーの輝き」 ～令和2年9月9日～

校長先生は去年からこの学校にお世話になっていましたが、ずっと気になっていることがありました。それは、昇降口にある校歌や応援歌のレリーフ（①）です。右上には「旧校舎の床材を使って」とメモが貼ってあります。よく見ると平成7年度卒業生一同と書いてあり、いったいどういったいきさつでこのレリーフが作られたのかな、と思って残されている資料を紐解いてみました。

南宮中学校は今年で66年目を迎えます。最初は木造の旧校舎（②）で約40年間、そして新しい今の校舎に移って26年目。旧校舎はこのように木造の校舎ですが、多い時には今の3倍を超える1600名近くの生徒が在籍する大きな学校でした。南宮中学校竣工記念誌から当時の写真を紹介します。

■昇降口 ■体育館 ■2年生の教室の廊下（③）

■体育館 ■体育館や校舎の壊される様子

このように旧校舎（④）は重機が入り壊されたんですが、その前に南宮中の先輩たちは何かをして校舎とお別れした。それは何だと思いませんか？（一間一）それは掃除（⑤）です。この写真の横には「新校舎へ机の移動も終わり、もう使うことのない教室。先輩たちの思いも込めて最後のそうきがけ」と説明があります。当時は、今のようにエアコンもなければサッシもなく、冬にはすきま風が入り、廊下はギシギシと音をたてていたような古くて傷だらけの校舎だったようです。そんな、もう使うことのない、壊すと分かっている校舎を、当時の生徒たちはなぜこのように床を磨いたんでしょうか？先ほどの写真には説明書きがあります。

■「3回がけの雑巾がけで廊下は黒く光っていた」と書いてある。木の床が光っているのが写真（③）から分かりますか？よほど磨き込まないとここまではならないと思います。

■（体育館の写真）ここにも「生徒が誇りにしていた光る床」とあります。

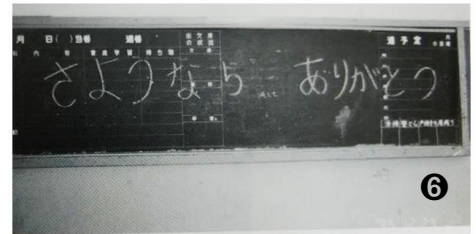
南宮中の先輩は、普段から清掃を丹念にやり、そのことで光る床を誇りにしていた。さらにこの記念誌には、当時の生徒会発行のSCHOOL TIMESが残されていました。「旧校舎とのさいごの別れ」のタイトル、ここには「木造校舎に私たちができる最後のことは、清掃です。ピッカピカに磨いてお別れしましょう」と記され、花束のイラストが添えられている。そして「さようなら ありがとう」最後にこんなメッセージを黒板に残して（⑥）古い校舎とお別れしたんですね。



竣工時の校舎全景（昭和30年代前半）



解体直前、お世話になった校舎の板で、何か記念に残すことはできないかと先生や生徒たちで考え、古い校舎の床板を貼り合わせ、表に校歌を刻み込むことにしたんだそうです。3年生が力を合わせてつくった、それがこの写真です。横にある模造紙にその願いが書いてありました。読んでみます。



このレリーフは3学年一人ひとりの思いを込め一人ひとりの力によって完成しました。40年もの長い間、生徒たちを見守り続けた校舎は今年から改築が始まります。その間に数多くの先輩たちが入学し卒業していきました。その先輩たちは一人ひとり違った思いでこの校舎を見つめ何か感じていたことでしょうか。そして今、私たちはこの校舎との別れを迎えます。思い出に多くの人たちを見守り育ててくれた古い校舎の床を使い、長く歌い継がれてきている校歌を“レリーフ”として残していこうと考えました。制作には3学年一人ひとりが手を加え、思いを込め作りました。これからも私たちや先輩たちの思い出とともに、このレリーフが南宮中学校に飾られることを願っています。(40周年記念誌より)

今私たちがお世話になっている新しいこの校舎は木材をたくさん使い、温かさと潤いを感じさせる、そして各階には多目的ホールで様々な活動ができるよう、地域の皆さんの願いを込めて作られました。26年経つわりには大切にきれいに使われてきているなあと思います。

南宮中には先輩から後輩に大事に受け継がれてきている3本柱があります。その一つ、南宮中の清掃は、私たちの大きな誇りです。これから紹介するのは6月に実施した交流清掃(何枚か提示)の様子です。

■黙々と ■見えないところにまで手を伸ばし、また、堅くぞうきんを絞り ■ものをどかして ■一人になる ■手を思い切り伸ばして ■ひざをついて ■床拭く手に力を込めて

どの姿も単に形だけでなく気持ちがかもっているように感じます。これらの姿は皆さんの心、努力なしには瞬く間に崩れます。こんな素敵な学校にした！といった皆さんの願いがあって、皆さん自身が今のこの清掃を創り出している、そこが南宮中の強みでもあります。



この4月に清美委員長の岩崎さんが、新一年生への清掃指導に向かう3年生の仲間に向かって語ったメッセージの一部を紹介して終わります。

清掃への願い 清美委員長 岩崎 沙夏

清掃は南宮中学校の三本柱の1つです。だからこそ、皆さんには新入生に「これが南宮中学校の清掃だ」と小学校との違いを教えてくださいと思っています。

清掃はその学校の状態を表します。「不真面目に行う清掃」と「ひたむきに行う清掃」では、その差が校舎に表れます。生徒会を引き継ぎ、最上級生となるみなさんには、来校する方が感心するようなきれいな校舎を目指してほしいです。

最後に、みなさんは南宮中学校の清掃の代表者としてこの場にいます。そのことを忘れずに、南宮中学校の顔として学校を支えるみなさんが、後輩たちに指導をしてください。よろしくお願いいたします。

3年生から1年生へ、やがてはまた今の1年生も次の後輩へと、この心は受け継がれていく。レリーフの輝きは、南宮中生であることの誇りの輝きであり、これからもずっと輝き続けることと思います。

秋の避難訓練

～訓練は本番のように。本番は訓練のように～

10月7日（水）に秋の避難訓練が実施されました。今回は、あらかじめ実施する時間は知らせないというやり方で行われました。2時間目休みに緊急放送が流れ、校庭への避難指示を聞いた生徒たちはそれぞれ居た場所から避難しました。とても整然と、迅速に避難することができ、消防署の方にも褒めていただきました。

今回は、各学年2名の代表者による消火器を使った消火訓練も行われました。「熱を感じる所から消火を始める」「ほうきで掃くように燃えている物にかける」など教えていただきました。



スクールサポートスタッフ 荒井 智子 先生 よろしくお祈りします！

1学期までお世話になった小林博幸先生に替わって、10月12日（月）から、荒井智子先生がスクールサポートスタッフとして勤務していただくことになりました。先生方の業務の支援や校内の消毒作業などをさせていただきます。よろしくお祈りします。

11月10日(火)授業参観・学年学級PTA

10月8日に家庭配付いたしましたように、11月10日（火）に今年度最初の授業参観と学年・学級PTAを行います。新型コロナウイルス感染症対策として、検温していただき、教室での参観人数を制限するなど、ご不便をおかけしますが、ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

- 授業参観 13:35～14:25 ○学年PTA 14:35～15:35 ○学級PTA 15:45～16:30
○支部長会 16:35～(会議室) ○広報部会 16:35～(第3理科室)

【出席停止についての確認】

★生徒本人に発熱等の風邪症状がある場合は自宅で休養するようにしてください。その場合は、「出席停止」となります。

◇◇◇ 今後の予定(11月) ◇◇◇

- ◆4日(水)UD研修会 ◆5日(木)血液検査(1年)・薬物乱用防止教室(3年) ◆6日(金)漢検
- ◆9日(月)立会演説会・選挙管理委員会
- ◆10日(火)授業参観日・2年キャリア教育講演会②・PTA支部長会
- ◆11日(水)校長講話
- ◆16日(月)教科相談①・2年キャリア教育講演会③・交流清掃(～25日)・信州型CS委・集金日
- ◆17日(火)検尿(再)・教科相談② ◆18日(水)読書旬間(～12/1) ◆19日(木)教科相談③
- ◆20日(金)期末テスト・実力テスト⑦ ◆26日(木)生徒総会

中野市立南宮中学校 教頭 山口 近

電話：0269-22-2365 FAX：0269-22-4052